

助成者	高橋 知里	活動期間	2019年4月～2022年3月
所属機関	特定非営利活動法人 パルシック	職 名	

シンハラージャ森林におけるエコツーリズムを通じた環境保全

【活動場所】 スリランカ マータラ県コタポラ郡デニヤヤ

【事業目的】 大規模な森林伐採、生態系の破壊、土壌の劣化が進んでいるシンハラージャ森林（スリランカ・ライオンキングの森）保護区に隣接するデニヤヤにおいて、森林及び周辺の実環境の保全と地域経済の活性化を目的とする地域住民主体のエコツーリズムの基盤を形成することを目的とする。



エコツアーの様子

【活動内容】

地域の有機茶葉共同出荷グループ「エクサ」が中心となって展開。コロomboでの連続爆破事件（2019年4月）やコロナの影響で、当初計画を変更して下記内容を実施。

- ①地域住民対象の「地域の宝探しワークショップ」開催（3回）
- ②エコツアーの開催（6回） ③オンラインエコツアーの開催
- ④国内観光客向け「道の駅」を開設し、地域農産物と有機農業の情報発信
- ⑤地域の若者を対象とした写真コンテストの実施

【活動成果】

当初計画とは異なる活動内容となったが、地域の魅力をアピールするための話し合いを地域住民と重ねることで、地域の自然環境の豊かさや社会文化的魅力を深めることができた。海外旅行者からの収入向上は得られなかったが、道の駅活用による地域産品販売により新たな収入を得ることができた。コロナ禍でのオンラインエコツアーは、参加住民からも好評を得た。オンラインツアーで作成した映像を活用しながら、今後も改良を重ねて続けていく。写真コンテストは期待したほど若者の参加を呼び込めなかった。地域の環境保全には次世代の若者の参加が不可欠であり、今後の課題となった。



オンラインツアーの様子